

2 事業実施に係る動機

近年、発達障がいの診断の低年齢化が進み、早期療育が叫ばれるようになりました。以前は障がいがあるということの受容も難しく、地域で障がいのある子どもたちを育てていくことが難しかった時代もありますが、近年は親御さんのほうから療育施設を探したり、外部から指摘される前からご自身で診断を受けに行くなど、障がいを持つ子どもたちをとりまく状況も変わってきています。自身が大阪で児童発達支援・放課後等デイサービスで経験した療育や知識をもとに、2020年1月より地元福山で保護者や地域のニーズに応えたく、事業実施を決意し「あゆみん福山新涯」をスタートしました。

障がいを前向きに個性と考えられる世の中にしていくため、地域に必要とされる事業所となるよう、前進し続けていきました。その中で、福山市でのニーズとは裏腹に障がいという言葉に抵抗があり、利用しにくい現状があることに気が付きました。その中、検診や園等で指摘を受けた悩まれている保護者の方へ、前向きな表現へ変換し伝えることで、障がいという言葉を重ねて感じてもらわないよう、個性として捉えてもらえるように伝えてきました。少しずつではありますが抵抗感も薄まり利用児童の数も増えました。その結果「あゆみん福山新涯」はOPENして5ヵ月、「あゆみん福山新涯2号店」では3ヵ月で定員に達する曜日ができました。

令和2年度に卒業した児童及び保護者より、当事業所「あゆみん」の療育の考え方が良いという多くの声と共に、継続して当事業所「あゆみん」に通い続けたいという希望も多く頂きました。「あゆみん」を卒業して、新一年生になった子どもたちが通えるように、この度当法人では放課後等デイサービスを同じ新涯地区にOPENし、「あゆみん」の療育を通して最終ゴールである社会に出て働くことを目標に今後も地域に必要とされる事業所にしていきたいと考えています。